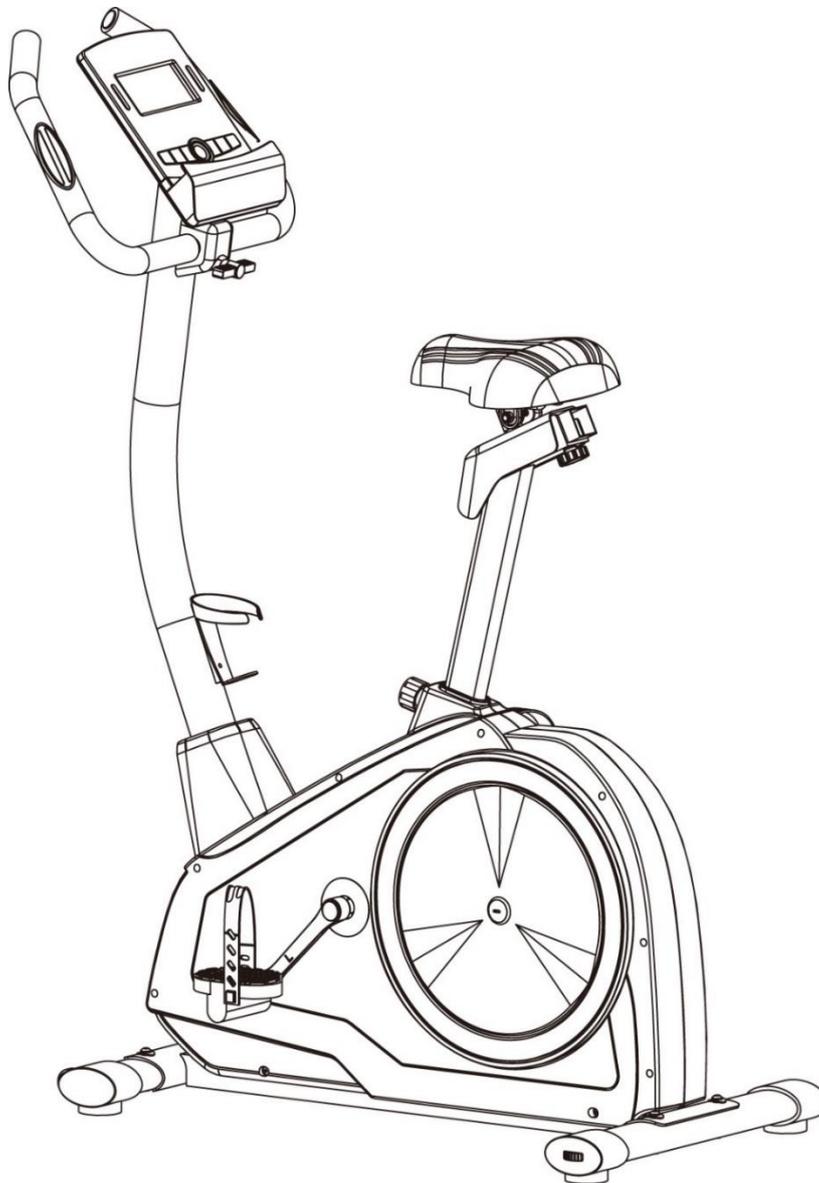




家庭用アップライトバイク DK-4080UA
(電動負荷式)
取扱説明書



このたびは アップライトバイク (家庭用) DK-4080UA をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

- ◎ まず、本説明書を最後までお読みください。運動器具は一般的な家電製品と違い、人の体重や大きな力が掛かる器具の為、若干のメンテナンスを必要とします、本説明書の内容を十分ご理解いただいた上で正しくご使用くださいますようお願い申し上げます。
- ◎ 本書の巻末に保証書がついていますので、配送業者の送り状伝票とともに大切に保管して下さい。
- ◎ 本機は家庭用です。改良のため、デザイン・仕様を一部変更している場合があります。ご了承下さい。
- ◎ 本機は家庭用※として軽頻度の運動向けに開発・設計しています。

※設計上、トレーニングジム・介護・福祉・教育の現場、ホテル・マンション・オフィスなどの共用設備の使用は想定していません。
保証の期間・内容に影響しますので予めご理解下さいますようお願い申し上げます。

※本書に記載されている数値は、実数と多少の差異が生じる場合があります。予めご了承下さい。

安全上の注意

取扱説明書の注意及び警告内容は、危険の度合いによって2段階に別れております。記載されている内容をよく理解いただき、取扱説明書に従ってご使用ください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告

誤った取扱いをすると人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容

- 1) 無理をせず軽いスピードから始めて下さい。
- 2) 急激な運動は体に負担が掛かりますので、少しでも異常を感じましたら運動を中止して下さい。
- 3) お子様、本機を使用したり、遊ばないようにして下さい。また、使用中はお子様近づかないようにして下さい。お年寄りの方が運動されるときには、必ず付添の人をつけて行って下さい。
- 4) お年寄り・体の不自由な方、病気をお持ちの方のトレーニング・リハビリ用にご使用の場合、必ずかかりつけの医師にご相談下さい。
特に次のような方(心臓病・高血圧・糖尿病・呼吸器疾患・妊娠中・ペースメーカー・人口心肺装着の方)
- 5) 内部点検や修理の際は販売店の指示に従って下さい。
各部の機能が正しく作動しているかどうか、またネジ・ボルト等の緩みやガタつきがないか、使用前に必ず点検して下さい。
- 6) 乗降する場合には、本機にもたれかかったり、使用中に周囲の人が製品及び使用者を押ししたり、引いたりしないで下さい。運動の妨げとなったり、安全性を損ないケガをしたりする場合があります。
- 7) 同時に2人以上でご使用なさないで下さい。



注意

誤った取扱いをすると人が障害を負う可能性及び物的被害の発生が想定される内容

- 1) トレーニングの前後に必ずストレッチ(準備体操)を入念に行ってください。
トレーニングをするたびに、筋肉はほんの少し傷みます。そのままにしておくと筋肉が縮み、その状態で数年間スポーツを行うと、筋肉が堅い弦の様に簡単に切れやすくなります。ストレッチは、必ずトレーニング前後に行うように習慣をつけましょう。
- 2) 食後のトレーニングはやめましょう。胃に流れる血液が、体を使うことにより胃に流れにくくなって消化に影響を与えるので、食後2時間位あけてトレーニングをして下さい。
- 3) ご使用時は、必ず運動靴を履き、回転、駆動部に巻き込まれる恐れがある紐等のない服装でご使用下さい。
- 4) 運動方法につきましては、使用方法以外での使用はおやめ下さい
- 5) 本機は一般家庭用のトレーニング機として作られていますので、一般家庭以外でのご使用はおやめ下さい。(家庭用以外でのご使用の場合には無償修理交換の対象外になります。)
- 6) 異物を商品内部に入れないでください。異物が入ったまま使用すると、故障の原因となります、特にお子様のおられるご家庭では注意して下さい。
- 7) 体重が100Kg以上の方はご使用なさないようにして下さい。
- 8) 速度30km/h以上での連続使用はおやめください。
- 9) 60分以上の連続しての使用はなさないでください。
- 10) サビの発生や負荷の調節不調、メーター等の故障の原因となりますので次の場所には設置、保管はしないで下さい。
 - ・直射日光、暖房設備、火気のために著しく温度が上昇する場所
 - ・屋外の設備(屋根付ガレージ等)や浴室付近等の湿気の多い場所
 - ・磁気や電氣的雑音の発生しやすいものの近く

☆保管上の注意事項

- ご使用前にはハンドル・接合部分のガタや、緩み等がないよう確認して下さい。
- 本機は使用中の運動が十分確保できる水平な床面に設置して下さい。
- 使用場所の周囲に物を置くと、思いがけないケガや事故につながりますので、必ず整理整頓してからご使用下さい。
- 本機は必ず平らな場所に設置して下さい。
- 廊下やフローリングまたは畳の部屋で組立てやご使用になると、床を傷つける場合があります。必ず、布やカーペットを敷いて傷を付けないようにして下さい。
- 本機を廃棄する場合は、粗大ごみとして各自治体の方法に従って処理してください。
- ペダル及びペダルバンド、サドル、ノブボルト、ハンドル等のラバーは消耗品のため、ご購入日より3ヶ月以上経過したものについては有償となります。(家庭用使用の場合に限ります。)

<仕様表>

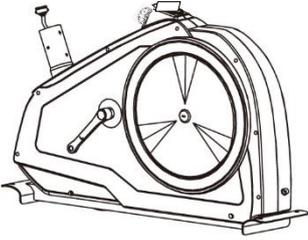
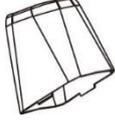
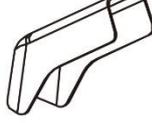
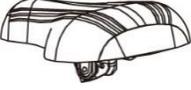
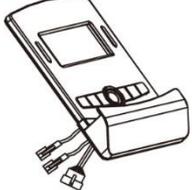
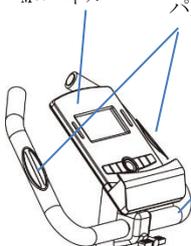
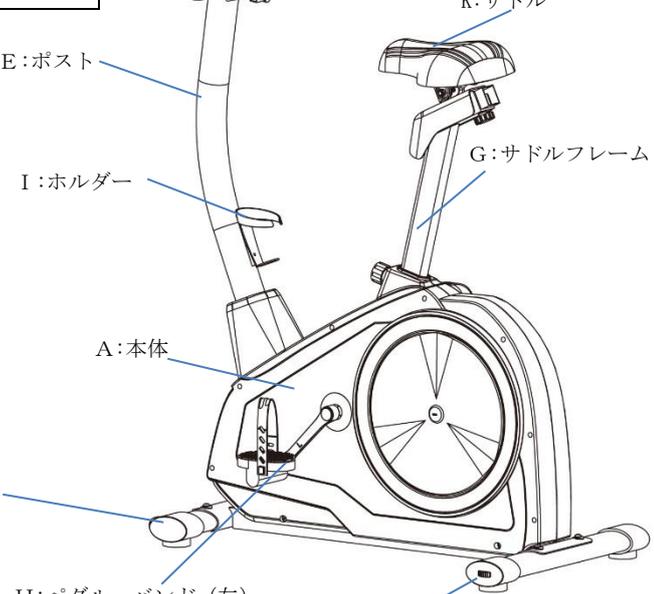
品名:フィットネスバイク(家庭用)
 型番:DK-4080UA
 本体重量:29kg
 本体サイズ:W50×L94×H141(cm)
 使用者体重制限:100kg

材質構造: スチールパイプ・ウレタン・ABS樹脂
 負荷方式: 電動負荷マグネット式(16段階)
 使用電源: ACアダプター
 脈拍検知方式: ハンドグリップ式
 生産国: 中国

パーツ早見表

パーツ表の中には本体に装着されているものがあります。

ステップごとに必ず確認してから組立てをおこなってください。

<p>A:本体</p> 	<p>B:フロントスタンド (キャスター機能付)</p>  <p>C:リアスタンド</p> 	<p>D:ポストカバー</p> 	<p>E:ポスト</p> 	<p>G:サドルフレーム</p> 
<p>H:ペダル・バンド</p>  <p>H-L:左 H-R:右</p>	<p>I:ホルダー</p> 	<p>J:サドルカバー</p> 	<p>K:サドル</p> 	
<p>L:ハンドル</p> 	<p>M:パネル</p> 	<p>N:ハンドルカバー</p> 	<p>M:パネル</p> <p>パルス</p>  <p>L:ハンドル</p>	
<p>O:ハンドルノブ</p> 	<p>Q:ACアダプター</p> 	 <p>E:ポスト</p> <p>I:ホルダー</p> <p>A:本体</p> <p>K:サドル</p> <p>G:サドルフレーム</p>		
		<p>B:フロントスタンド (キャスター機能付)</p> <p>H:ペダル・バンド (左)</p> <p>C:リアスタンド (段差調整機能)</p>		

組立方法

*ステップ1から順番に組み立ててください。パーツにボルト等がついていますので必ず確認をしてください。

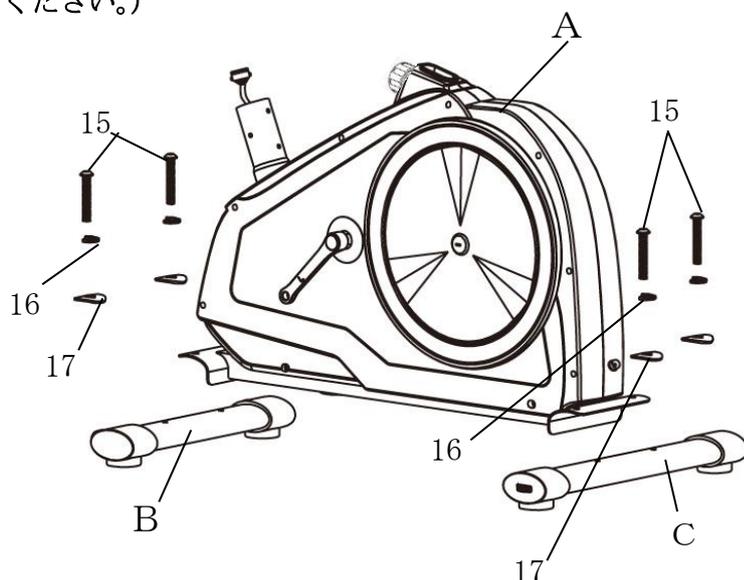
(1・本体やパーツについているネジが欠落している場合がありますので、梱包されていた箱や袋の中も確認してください。2・本体についているネジは必ず作業を行う直前にはずしてください。*先に外してしまうとどの部分のボルトかが分からなくなりますので必ずお守りください。)

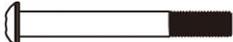
ステップ 1

A：本体前方に、B：フロントスタンド、後方に

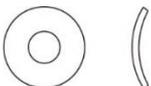
C：リアスタンドをそれぞれ 15：ボルト、

16：Sワッシャ、17：ワッシャで固定します。



 15:M8×55 ボルト 4本

 16:M8 Sワッシャ 4枚

 17:M8 ワッシャ 4枚

ステップ 2

<1>D：ポストカバーをE：ポストに挿入し ①、

E：ポストから出ているコネクタとA：本体から出ているコネクタを接続します ②。

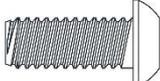
<2>E：ポストをA：本体に差込み ③、ボルト等でそれぞれ固定し、D：ポストカバー ④)を下ろします。

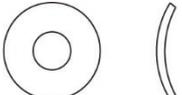
※ボルト類を固定する際、中に入っているメインコードを

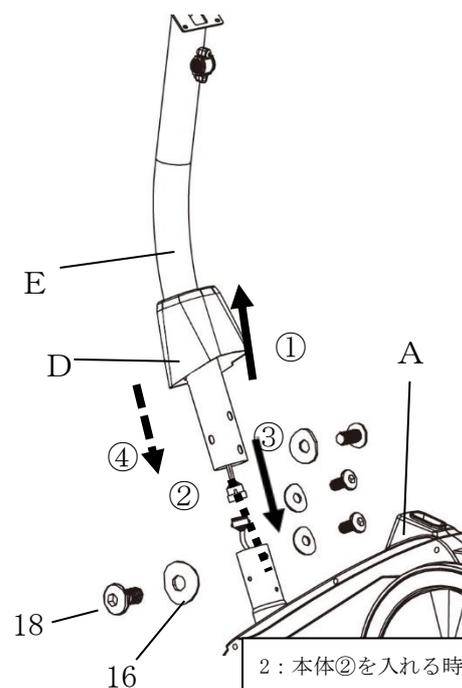
傷つけないようにしてください。

※すべてのボルトを「仮止め」にしてから、

工具で固定してください。

 18:M8×20 ボルト 4本

 16:M8 ワッシャ 4枚



2：本体②を入れる時に、コネクタ・線を破損させないようにして下さい。

ステップ 3

<1> E : ポストに L : ハンドルを 25 : 固定具と

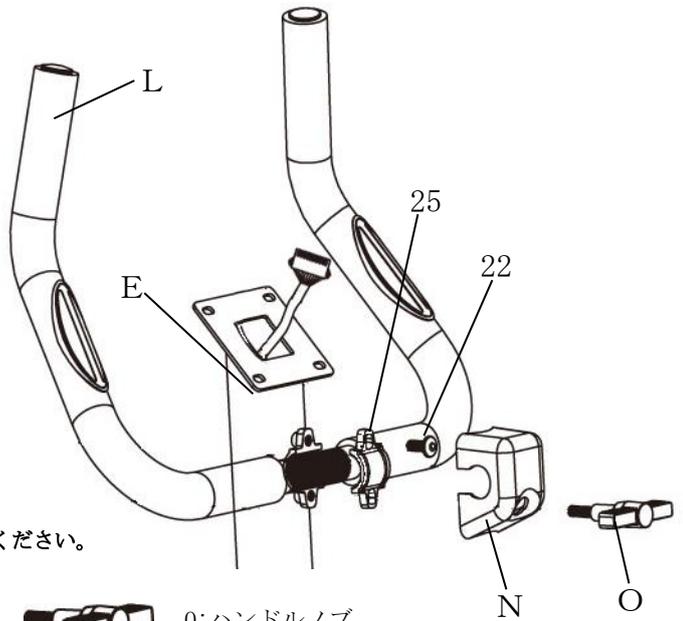
22 : ボルトで L : ハンドルが落ちない程度に固定し、

O : ハンドルノブに N : ハンドルカバーを通し、

L : ハンドルを固定します。

(※22 : ボルトをきつく固定すると、L : ハンドルの
角度が変わりませんご注意ください。)

※22 : ボルト、25 : 固定具は E : ポストに仮止めされている場合は一旦はずしてください。



25: 固定具



22: ボルト



N: ハンドルカバー



O: ハンドルノブ

<2> L : ハンドルから出ているコードを E : ポストに
通します。

① E : ポストについている「ゴム」を外します。



② 外したゴムの「割れ目」に L : ハンドルから
出ているコードを挟みます。

※コードを挟むときに「ゴム」の向きに注意してください。



③ コードの先端を穴にいれ、E : ポストから出し、

コードの長さを調整して「ゴム」を穴に押し込みます。

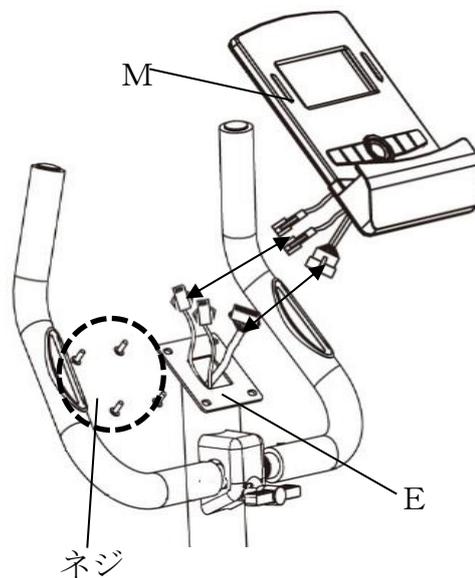


コードの長さを調節後、
「ゴム」を押し込んでください。

<3>①M：パネル裏についているネジを一旦外します。

②M：パネルのコネクタとE：ポストから出ているコネクタをそれぞれ接続します。

③接続後、コードをE：ポスト内に入れて、①で外したネジでM：パネルをE：ポストに固定します。



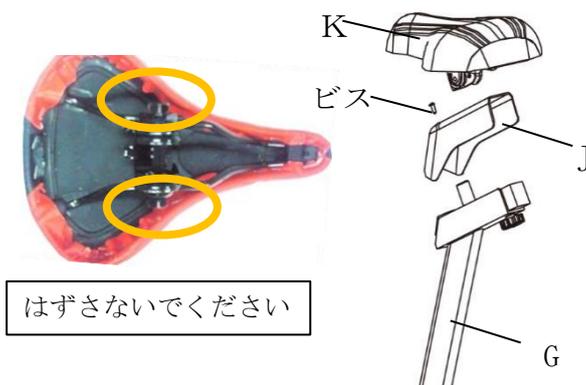
ステップ 4

<1>G：サドルフレームにJ：サドルカバーをビス止めします。

<2>K：サドル裏右図○印のナットを緩め

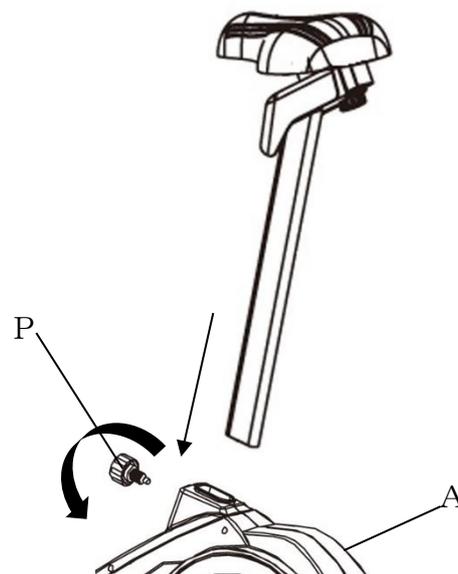
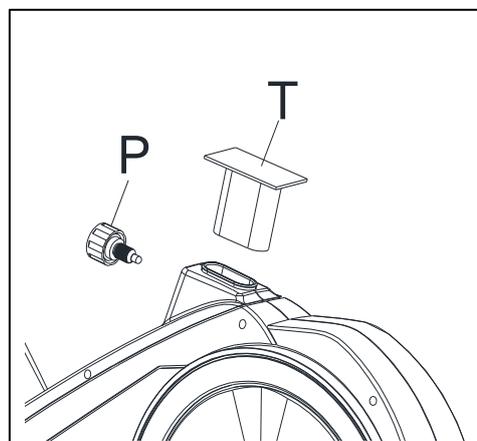
(ナットは緩めるだけです。外さないようにしてください。) G：サドルフレームの凸部に挿入し、

○印のボルトを左右均等に締めて、K：サドルを固定します。



本体に仮装しているPノブボルトとTパイプを取り出します。Tは廃棄をお願いいたします。

<3>P：ノブボルトを一旦緩め、軽く引きます。サドル部を本体に差し込み、P：ノブボルトを回して固定します。



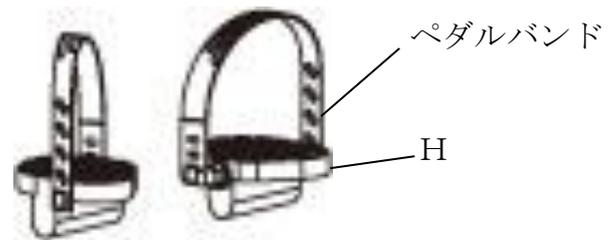
ステップ 5

<1>H：ペダルそれぞれにバンドを取り付けます。

※H：ペダル・バンドには左は「L」、

右には「R」と印がありますので、

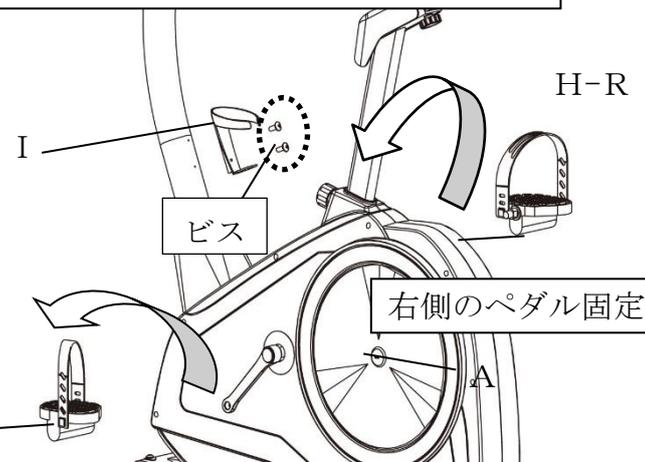
間違えないように取付けを行ってください。



ペダルの取付は左右で回す方向が違います。
左ペダルは（左）まわり（反時計回り）に・
右ペダルは（右）まわり（時計回り）に回し
て取り付けてください。

<2>A：本体に<1>で組立てた左右H：ペダルを
それぞれ固定します。

※左ペダル（H-L）は左回りに、右ペダル（H-R）は右回
りでねじこんでください。（*左ペダルはL、右ペダルはR
のマークがありますので間違えないように確認して取り付
けてください。左右間違えますとネジ山が破損し取り付け
ができなくなりますので注意して組み立ててください。）



<3>E：ポスト中央付近にあるビス2本を

一旦外し、I：ホルダーをE：ポストの
穴にあわせてビスで固定します。

※ビスが固定しづらい場合には、ビスを斜めにして固定してください。

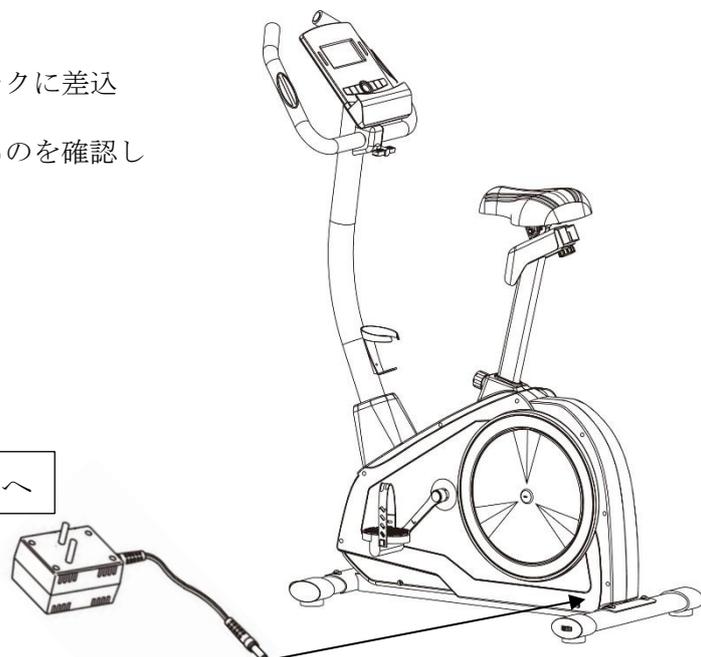
左側のペダル固定

ペダルは垂直に凹部に合わせてか
ら、回すようにして下さい。
（斜めに回すとネジ山が潰れてしまいますので、
注意してください。）

ステップ 6

Q：ACアダプターをA：本体後方のジャックに差込
み、コンセントに接続し、パネルが点灯するのを確認し
てください。

コンセントへ



パネル表示説明、操作方法

操作を一定時間行わない場合には、数分でパネルの表示が消灯します。

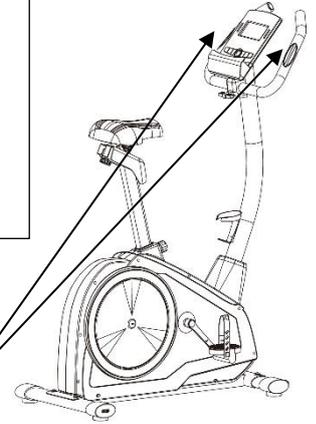
(※運動がおわりましたらACアダプターをコンセントから抜くのを忘れないようにしてください。)



簡易脈拍の測り方

ハンドルの心拍部分をそれぞれ握ります、しばらくするとパネル右上に表示されます。

この部分を両手で握ってください。



- ① モード：数値等を確定するときに押します。数値等をリセットしたい場合には「長押し」をしてください。
- ② スタート/ストップ：運動を始めるとき/一時手停止するときに押します。
- ③ ダウン：負荷を弱める、数値を下げるときに押します
- ④ アップ：負荷を強める、数値を上げるときに押します。
- ⑤ 体脂肪測定：運動を行っていない時に簡易体脂肪を測るときに押します。
- ⑥ 回復：簡易体力測定を行うときに押します。

パネル表示について

1. SPEED：速度が表示されます。(連続して 30km/h を超える速度での連続使用はお控えください。)
2. TIME：経過時間が表示されます。
3. DIS：運動を行っている距離を表示します。
4. CAL：概算の消費カロリーを表示します。
5. PULSE：簡易脈拍数を表示します。
6. RPM：フライホイールの回転数を表示します。

I. すぐに運動を始めるには・・・

<1>本体に AC アダプターをさし、コンセントにプラグをさします。(電源の ON/OFF)

*本製品には電源スイッチがついておりません。AC アダプターを抜き差しすることによりパネルが点灯します。



<2>パネルが点灯したら「スタート/ストップ」ボタンを押し、ペダルを漕ぎ始めてください。

※漕ぎ始めの負荷レベルは7くらいからはじまります。



<3>運動を一時停止したい場合には、「スタート/ストップ」ボタンを1回押します。

再開する場合にはもう一度「スタート/ストップ」ボタンを押してから、漕ぎ始めてください。

<4>運動を終える際には、「スタート/ストップ」ボタンを1回押し、一定時間放置するとパネルが自動的に消灯します。

<運動中に負荷（漕ぐ重さ）を変えたい場合には・・・>

パネルの「アップ」又は「ダウン」ボタンをおして調整します。

*「アップ」、「ダウン」ボタンを交互に押し続けての負荷調整を

行いますと、故障の原因になりますので、おやめ下さい。



II. 目標を設定して運動をするには・・・ (マニュアルモード)

*目標設定はすべての項目を設定する必要はございません。項目が「0」の状態ですべての項目を設定したいところにあわせてください。

<1>電源をONにし、パネル中央に、「PROGRAM01」と点滅表示、「モード」を押し確定させます。

<2-①>：目標時間設定>1分単位での設定になります。

画面の“TIME”欄が点滅しますので、「アップ」または「ダウン」のボタンを押し、任意の数値にし、

「モード」を押し確定させ、「スタート/ストップ」ボタンを押し運動を開始します。距離を設定したい場合には

<2-②>に進んでください。(設定しない場合には「モード」を押してください。)

「0」になると終了となります。

<2-②>：目標距離設定>0.1km単位での設定になります。

画面の“DISTANCE”欄が点滅しますので、「アップ」または「ダウン」のボタンを押し、任意の数値にし

「モード」を押し確定させ、「スタート/ストップ」ボタンを押し運動を開始します。

カロリーを設定したい場合には<2-③>に進んでください。(設定しない場合には「モード」を押してください。)

「0」になると終了となります。

<2-③>：目標カロリー設定>10kcal単位での設定になります。

画面の“CALORIES”欄が点滅しますので、「アップ」または「ダウン」のボタンを押し、任意の数値にし

「モード」を押し確定させ、「スタート/ストップ」ボタンを押し運動を開始します。

心拍数を設定したい場合には<2-④>に進んでください。(設定しない場合には「モード」を押してください。)

「0」になると終了となります。

<2-④>：目標心拍数設定>80以下には設定できません。

画面の“PULSE”欄が点滅しますので、「アップ」または「ダウン」のボタンを押し、任意の数値にし

「モード」を押し確定させ、「スタート/ストップ」ボタンを押し運動を開始します。

*心拍数が目標値に達しても運動は終了いたしません。設定した数値を上回ると警告音にてお知らせをします。

(設定していない数値はカウントアップしていきます。)

- 目標時間・目標距離・目標カロリーを同時に設定した場合、設定したうちのいずれかの目標が達成されると運動が終了いたします。
- 運動を中止する場合には「スタート/ストップ」ボタンを押してください。
- 負荷は「アップ」または「ダウン」のボタンを押し、任意の負荷に設定できます。

Ⅲ. 内蔵プログラムで運動をするには・・・ (負荷自動変化プログラムモード 2～13)

*内蔵プログラムとは…負荷がランダムに変化をしていきます。

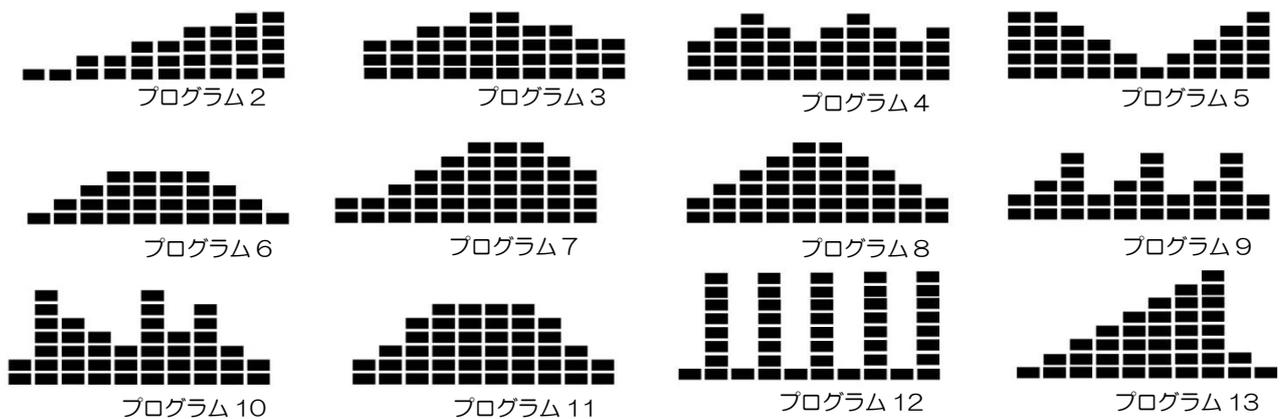
<1>電源を ON にします。

<2>画面中央の「PROGRAM」の数字が点滅している状態で、「アップ」のボタンを押し、「PROGRAM02～13」のお好みのプログラムを1つ表示させ「モード」を押し確定させます。

<3>画面の“TIME (5分～) 欄が点滅しますので、「アップ」または「ダウン」のボタンを押し、任意の数値にあわせ、「モード」を押し確定します。※時間の設定を「0」にすると負荷の変化はありません。

<4>“スタート/ストップ” ボタンを押して運動を行い設定した目標時間がカウントダウンしていきます。

<5>設定した目標時間まで到達すると終了になります。



Ⅲ. ユーザープログラムで運動をするには・・・ (USER PROGRAM1～4 モード)

*ユーザープログラムとは…使用者が任意に 10 回負荷をお好みに自動変化させて運動をするプログラムです。

<1>電源を ON にします。

<2>画面中央の「PROGRAM」の数字が点滅している状態で、「アップ」のボタンを押し、「PROGRAM14 (U1) ～17 (U4)」のお好みのプログラムを1つ表示させ「モード」を押し確定させます。

<3>お好みの負荷を 10 段階設定していきます。

(「アップ」、「ダウン」で選択し、「モード」を押し確定させます。)

<4>画面の“TIME (5分～) 欄が点滅しますので、「アップ」または「ダウン」のボタンを押し、任意の数値にあわせ、「モード」を押し確定します。※時間の設定を「0」にすると負荷の変化はありません。

<5>“スタート/ストップ” ボタンを押して運動を行い設定した目標時間がカウントダウンしていきます。

<6>設定した目標時間まで到達すると終了になります。

IV. ハートレートモードで運動をするには・・・(H.R.Cモード)

(パルス部分を握り続けないと行えません。)

<1>電源を ON にします。

<2>画面中央の「PROGRAM」の数字が点滅している状態で、「アップ」のボタンを押し、「PROGRAM18

(55%)」「PROGRAM19 (65%)」「PROGRAM20 (75%)」「PROGRAM21 (85%)」「PROGRAM22 (TARGET)」を点滅させ、上記のうち1つを選択し「モード」を押し確定させます。

<3>画面右上に“AGE”欄が点滅しますので、「アップ」「ダウン」のボタンを押し、任意の数値にあわせ、「モード」を押し確定します。

※PROGRAM22 TARGET H.R.C を選択した場合

ご自身でお好みの心拍数を設定する”PROGRAM22 (TARGET H.R.C)”を選択し、「モード」押して確定させます。(“TARGET H.R.C”を選択した方は、任意の数値に「アップ」「ダウン」のボタンを押し、「モード」押して確定します。)

<4>画面の“TIME (5分～) 欄が点滅しますので、「アップ」または「ダウン」のボタンを押し、任意の数値にあわせ、「モード」を押し確定します。※時間の設定を「0」にすると負荷の変化はありません。

<5>“スタート/ストップ”ボタンを押して運動を行い設定した目標時間がカウントダウンしていきます。

<6>設定した目標時間まで到達すると終了になります。

※運動中に警告音がなる場合は「目標心拍」を上回っている場合になります。

●このプログラムは心拍数を必要としますので、ハンドルパルスの部分を握り続けてください。

体脂肪の測定方法 (*この機能は、あくまでも簡易的ですので参考程度にご使用ください。)

①運動を行っていない状態にします。

②パネルの“体脂肪測定”を押します。

③-1 “HEIGHT” (身長) を “アップ”、“ダウン” で選択し、“モード” で確定させます。

-2 “WEIGHT” (体重) を “アップ”、“ダウン” で選択し、“モード” で確定させます。

-3 “GENDER” (性別) 男性・女性を “アップ”、“ダウン” で選択し、“モード” で確定させます。

-4 “AGE” (年齢) を “アップ”、“ダウン” で選択し、“モード” で確定させます。

④ハンドル部のパルス部分をそれぞれ 10 秒ほど握ります。

⑤簡易体脂肪率の数値が出ます。(単位%)

※測れない場合「Err」が出ます。その場合、“体脂肪測定”を押し、再度行ってください。

回復（リカバリー）運動後の心拍回復度合いが計測できます。

本機能を行う際、運動を行ってある程度心拍数を上昇させてから行ってください。

①“ SPEED” を「0」の状態にします。

②パネルの“ 回復” ボタンをおし、ハンドルのパルス部分をそれぞれ 60 秒間握ります。

③パネルの“ TIME” に 60 秒からカウントダウンをしていき「0」になったときに、

F1（回復に度合いが大変良い）～**F6**（回復度合いが大変悪い）の 6 段階で表示されます。

以下の場合には計測ができないことがあります。

* 運動中に本機能はご使用できません。

* 60 秒の途中で心拍センサーから手を離す。

* “ RECOVERY” ボタンを押し、脈拍が計測できない時…等

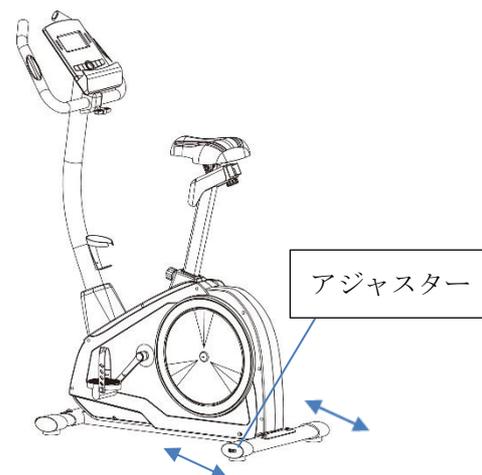
この機能は日々の運動の参考にご使用ください。

段差調整方法

リアスタンド脇にそれぞれ 2 ヶ所あるアジャスター部分を

回すことで段差調整を行えます。

※本機は床面が平らな部分に設置してください。



サドル前後スライドの方法

<1>シート下のスライドノブをまわし、緩めます。

(*とれるまで回さないでください)

<2>シートを任意の位置にずらしてノブボルトを

締めて固定します。(ノブボルトを確実に締めないと、

運動中に動きますので確実に締めつけてください。)

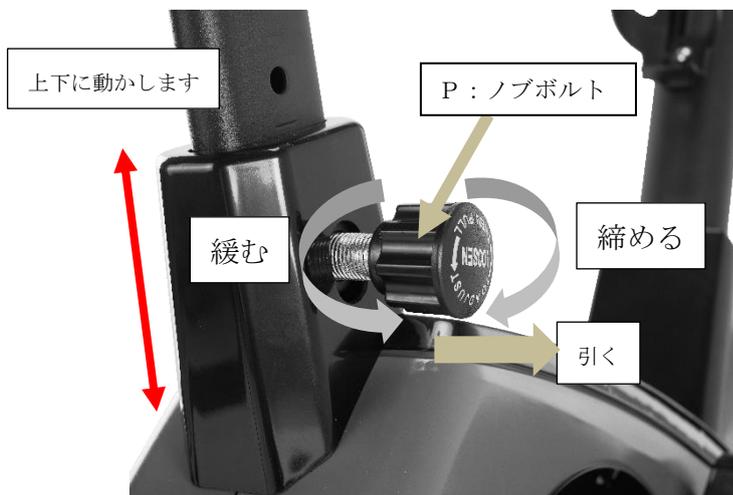


サドル部の上下スライド

P：ノブボルトを一旦緩めて引きながら

シート部を上下させ「カチッ」と音がしたところで

手を離し、P：ノブボルトを締め付けます。



故障かなとおもったら…

症状	原因	処置
パネルが表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ・ AC アダプターが本機・コンセントにささっていない ・ 接続コネクタがつながっていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ AC アダプターをコンセントにさしてください。 ・ コネクタの接続を確認してください。(ステップ 2・3 を参照してください。)
ペダルの取り付けができない	<ul style="list-style-type: none"> ・ ペダルの左右を間違えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ペダルの刻印「L」・「R」を確認し、ステップ 5 を参照して行ってください。
脈拍が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ・ 接続コネクタがつながっていない ・ パルス部をそれぞれ同時に握っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ステップ 2・3 を参照に接続し直してください。 ・ パルス部を同時に数秒間握ってください。
コトコト音がる	ペダルが緩んでいる。	左右のペダルを一旦外し、片方ずつつけ直す。
グラグラする	床面が平らでない	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設置場所をかえる。 ・ アジャスターを調整する。
ギシギシ音がる	各ボルト等が緩んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 緩んでいるボルト等を一旦外しつけ直す。 ・ アジャスターで調整する。

★ お手入れ上の注意

- 汚れや使用後の汗等は、中性洗剤を薄めて含ませ固く絞った布で拭き、その後乾いた布でふき取ってください。
- 水をかけたり、シンナー・ベンジンなどで拭かないでください。
- パネルの汚れや汗、水分等は乾いた布で拭いてください。

保証書

本保証書は下記の保証期間ならびに保証条件にしたがって、無償修理することをお約束するものです。この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

品名	DK-4080UA 家庭用アップライトバイク
保証期間	お買い上より1年間
お買上げ日	年 月 日
お名前	
ご住所	
TEL	- -

販売店：

- (1) 取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合は、無料保証いたします。
- (2) 保証期間内に故障した場合は、輸入販売元にご依頼ください。その際、本書の有無をご連絡ください。
- (3) 保証期間内でも次の場合には保証は受けられません。
 - お買上げ後の移動、落下、転倒等の故障及び損傷
 - 本来の使用目的以外による故障及び損傷
 - 火災、地震、風水害、落雷、その他天災地変・公害・塩害等による故障及び損傷
 - 保管上の不備による故障及び損傷
 - 不当な修理、改造による故障及び損傷
 - 設置場所等の床面などの損傷
 - 本保証書の提示がない場合
 - 屋外にて修理を行う場合（建物の外、軒下、集合住宅の共用部等を含む）
- (4) 使用に伴う消耗品は、無償修理交換の対象になりません。
- (5) 一般家庭以外、施設等で使用された場合は、無償修理交換の対象になりません。
- (6) 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- (7) 保証期間が過ぎた後の故障については有償にての対応になります。
- (8) 本保証書は日本国内のみ有効です。
- (9) 修理品については運賃、諸費用は原則としてお客様負担でお願いします。
- (10) 本保証書は、お買上げ年月日、販売店名、販売店印が記載されていないと無効です。

ただし、商品をお届けした際の配送伝票や購入日が証明できるものがある場合にはその限りではありません。
- (11) 出張修理に関しては、保証期間内でも有償になる場合があります。

フリーダイヤル：0120-25-1622

* 携帯電話、PHS、IP電話からはご利用になれません。

受付時間：平日 AM10～PM12時、PM1～5時までになります。

輸入販売元 大広 株式会社

〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町3-41-4 2F

TEL：03-5652-5056 FAX：03-5652-5078

受付時間 (平日 10:00～12:00・13:00～17:00) 土・日・祝日休み